

vol.2

禁断の愛に姉弟は溺れる

狂愛

の

月

笹木ささ



私ずっと…

定綱様を
騙していたんです



相手は…
誰なんだ…

それは…っ



言ってしまった…

…あ…



処女だと偽り
嫁入りをして
ずっと生娘のフリを
していたんです

言った…




…言え
ません…

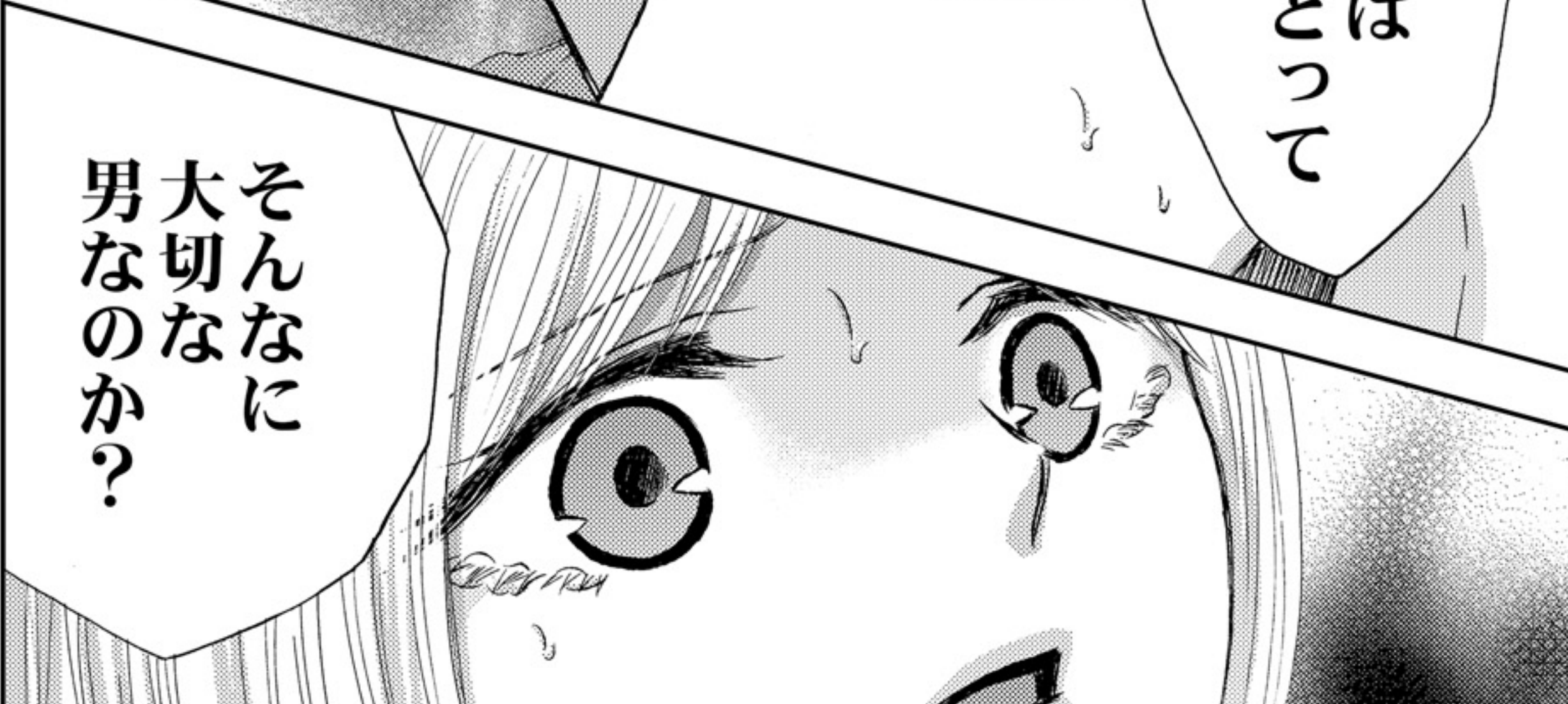


それだけは…

何故
言えない!!



その男は
お前にとって



そんなに
大切な
男なのか？



.....



もうさらさら...



...そうか



大切...でした

ですが...

今はよく
分かりません



じじじよじじ...



俺に少し

考える
時間をくれ



あんな顔の
定綱様初めて...

私...

きつとあの方を
傷付けた...

ただどここれだけは
明かせない

処女を奪った相手が
政宗だなんて……

弟と身体を
重ねているなんて……

そんなおぼえまじい
こと……

奥方様
昨夜も一人で
床に就かれた
みたいよ

殿は昼間も
馬を走らせてどこかへ
出掛けてしまおうし

奥方様と顔を
合わせないように
してるみたい……

少し前までは
あんなに仲睦まじく
されていたのに……

なにかあられたの
かしら……



俺はこんなに
器が小さい男
だったか…？



…なあ



まさかあんなことを
隠していたとは…



定綱様…
城の者も皆
心配しております

奥方様と喧嘩でも
されたのですか？



喧嘩か…

初夜の時から
様子がおかしい
とは思って
いたが…



たとえ嘘をつかれて
いたとしても

不思議と
月貴への想いは
変わらない



定綱様まさか
奥方様を見限られる
気じゃ…

それは
ない



過去のことは
忘れよう

それよりも
月貴が俺に
少しでも
秘密を明か
してくれた

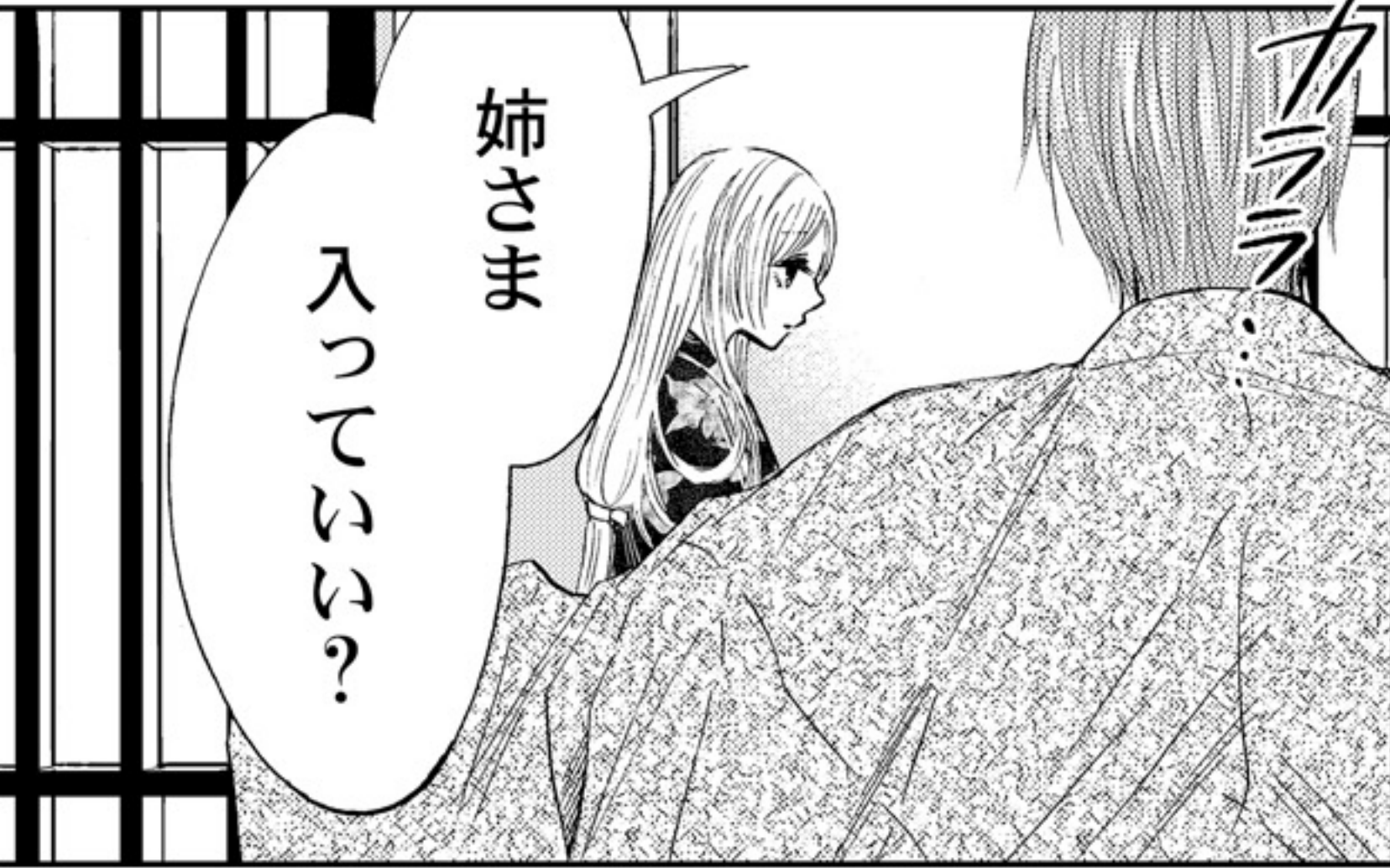
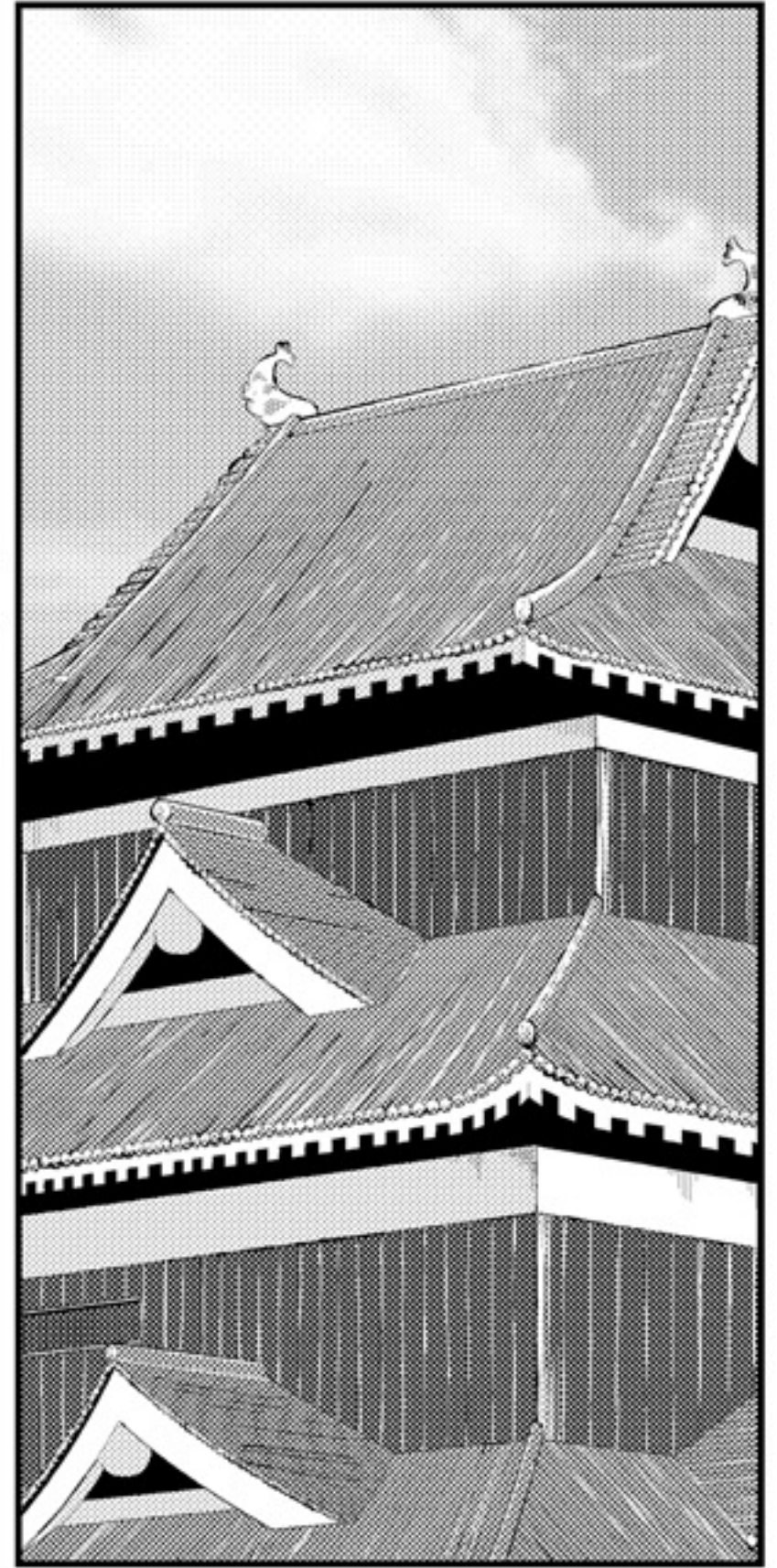
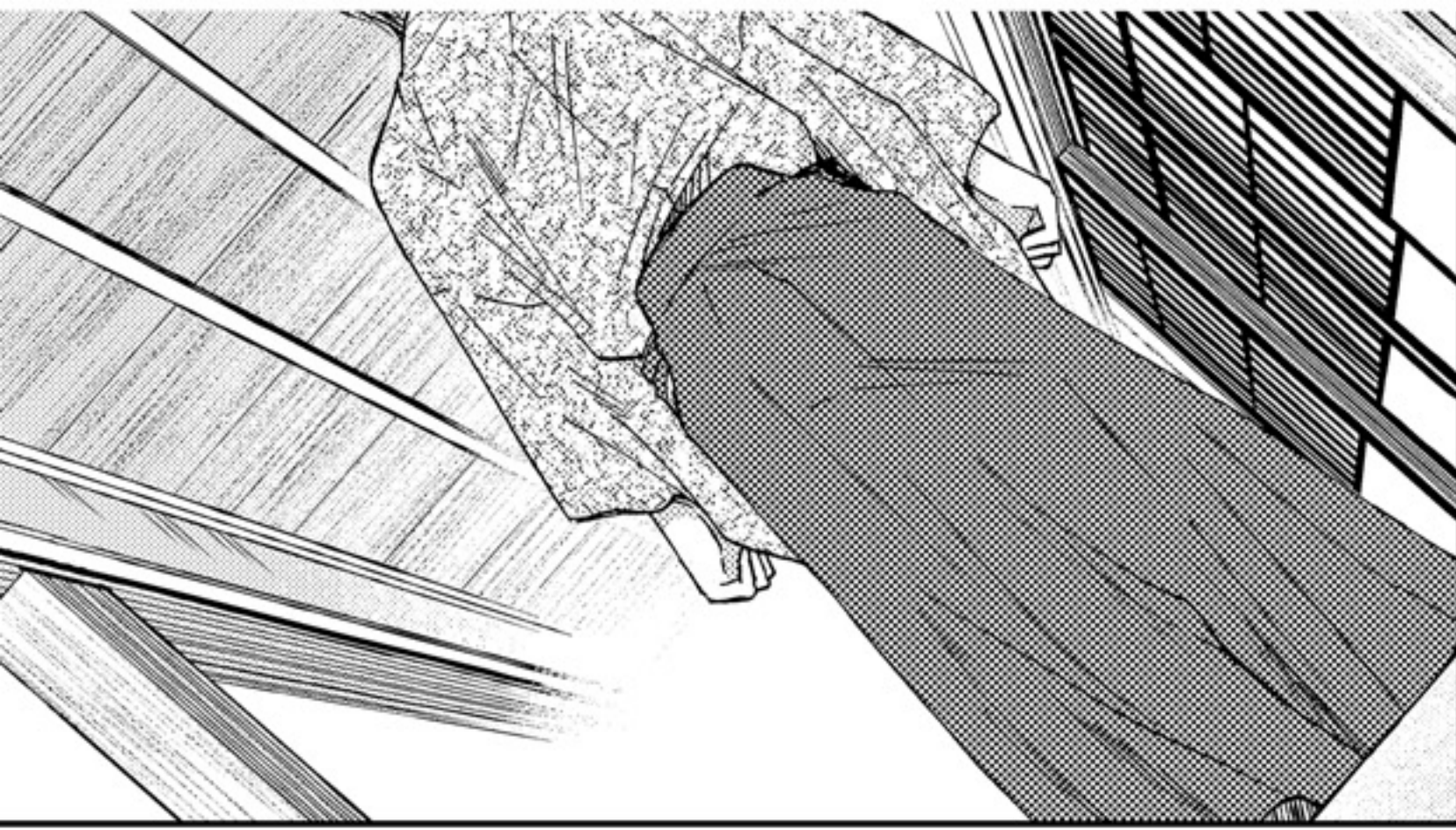


帰るんだ
小浜城へ



そのことの方が
重要だ

定綱様
どちらへ…



姉さま

入っていい？

カラララ



定綱様に
処女じゃない
ことを明かして

許して
欲しかった…

私が犯した
過ちを



…私って
嫌な女だわ…



米沢城に文が
届いたんだ

姉さまが
何日も塞ぎ込んで
いるって